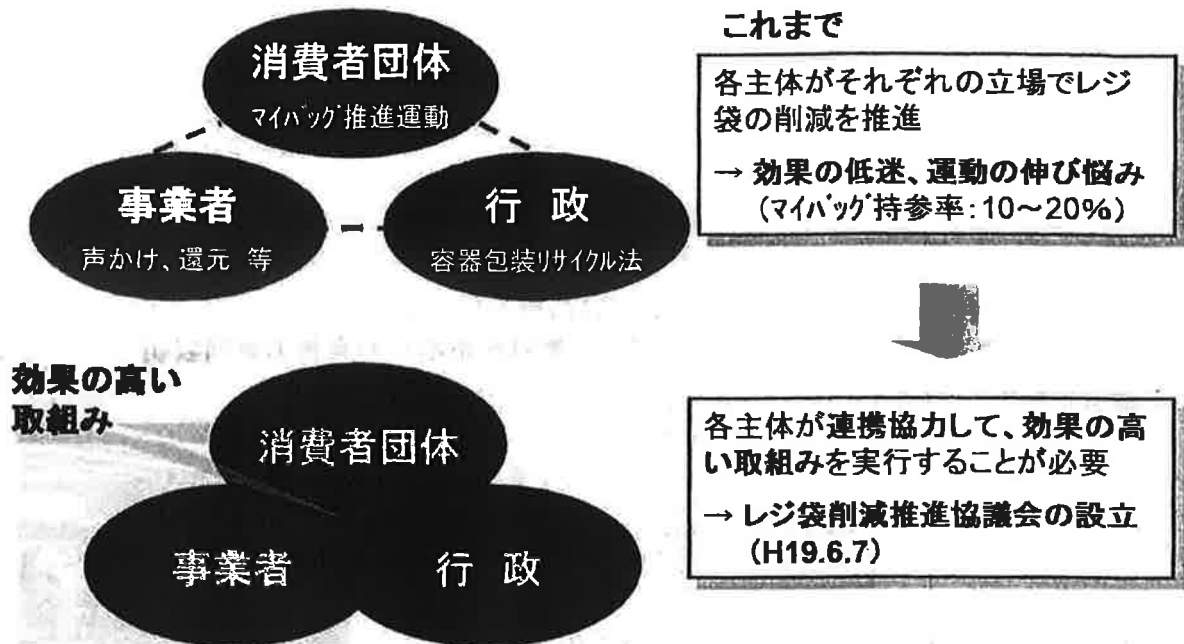


## ●レジ袋削減推進協議会の設立



## ●レジ袋削減推進協議会の設立

H19.6	<p>会 長：宮下 富山県環境審議会会長</p> <p>事 業 者：スーパーマーケット10社・1協同組合(123店舗)</p> <p>消費者団体：6団体          ( 県消費者協会、県婦人会、県生活学校連絡協議会、          県PTA連合会、県環境保健衛生連合会、          とやま環境財団 )</p> <p>行 政：県(協議会事務局)、市町村</p>
-------	--

H19.11 スーパーマーケット1社(6店舗)が新規参加

H20. 3 スーパーマーケット25社(116店舗)、消費者団体、行政の3者で協定書を締結

※協定締結時に消費者団体4団体が新規参加

3月末に スーパーマーケット2社(4店舗)、クリーニング業1社(88店舗)が  
新規参加



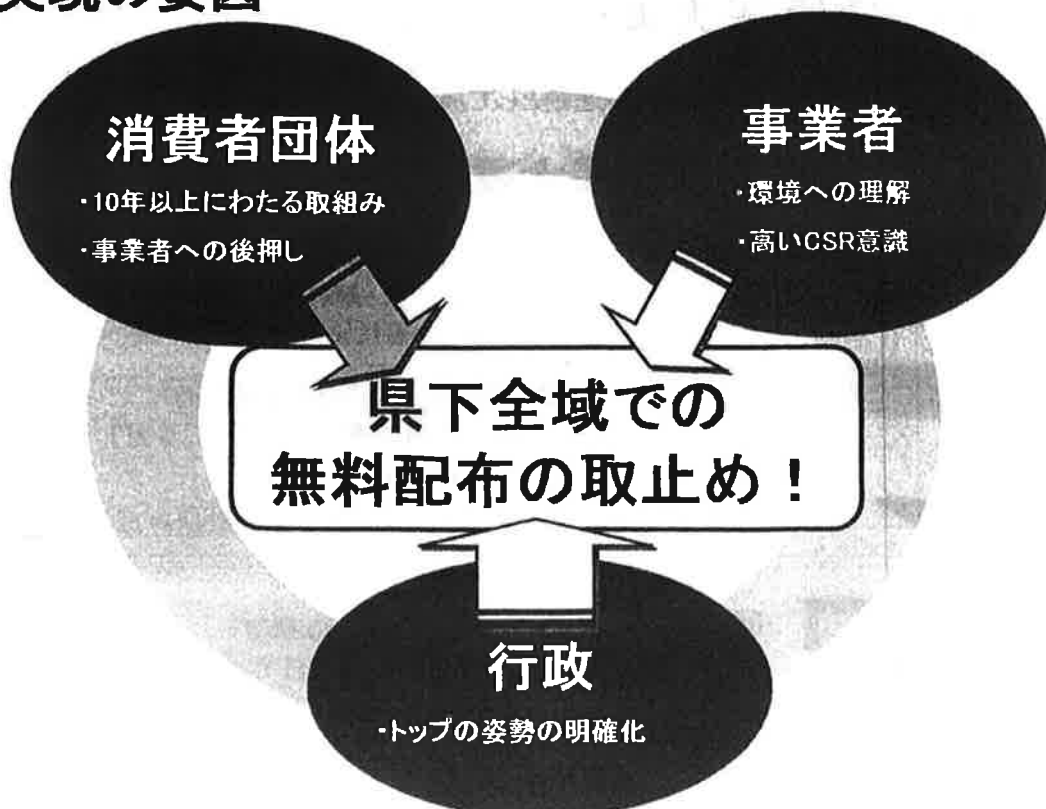
## 普及啓発活動

20年1～3月に、「レジ袋の削減の意義」に関する啓発と4/1スタートの周知のため、あらゆる媒体を活用して積極的にPRを実施

- ノーレジ袋県民シンポジウムの開催  
県内4会場で開催、約800人が参加
- テレビ、ラジオ等の広報媒体による普及啓発  
県政テレビ・ラジオ番組、テレビスポットCM、新聞広報、県広報誌
- 各種団体の会合での説明  
各種団体の会合や出前県庁を通じた説明を実施(約40回、約1,500名)
- 普及啓発資材の作成、提供等
  - ・チラシ(130万枚)、ポスター(2千枚)、のぼり旗(750本)の作成、事業者等への提供
  - ・消費者団体、経済団体など環境とやま県民会議117団体を通じたチラシの配布
  - ・各種イベントにおけるチラシの配布、ポスター等の掲示
  - ・チラシの全戸配布(約37万2千世帯)



## 実現の要因



## ●今後の課題

### ■マイバッグ持参の定着及び取組みの「輪」の拡大

- ・マイバッグを、日常生活の中の「当たり前」の行動として定着する必要がある。
- ・ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアなどの他業種にも、取組みの輪を広げる必要がある。

### ■環境にやさしいライフスタイルへの転換

- ・地球環境にやさしいライフスタイルの実践
- ・循環型・脱温暖化社会の構築

## レジ袋削減の取組み

### とやまエコライフ・アクト10宣言

**チーム・マイナス6%の取組み**

ACT 1 冷房の設定温度は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう

ACT 2 乾口はごまめにしめよう

ACT 3 ふんわりアクリル「eスタート」をしよう

ACT 4 エコ製品を選んで買おう

ACT 5 無駄なレジ袋は断ろう

ACT 6 コンセントからごまめに抜こう

**とやまオリジナルの取組み**

ACT 7 マイカーに乗らずに出かけよう

ACT 8 自然とふれあい、緑を守り育てよう

ACT 9 資源回収等の地域の環境保全活動に参加しよう

ACT 10 とやまの旬の食材を食べよう

## レジ袋削減の取組み

## ●ノーレジ袋県民大運動の展開①

マイバッグの持参を県民総ぐるみの運動として展開

### ノーレジ袋県民大運動2008

- ステップ1(普及啓発)** 20年1～3月
- ・シンポジウム(4回)
  - ・啓発資材の作成・配布
  - ・テレビ、ラジオ等による広報
- ステップ2(実践)** 20年4～6月
- ・環境とやま県民会議構成団体のノーレジ袋率先行動(117団体、4月)
  - ・ノーレジ袋実践事例発表(事業者、消費者の4～5月の取組み成果の発表:6月)
- ステップ3(定着・拡大)** 20年7月～
- ・マイバッグコンテストの開催(児童・生徒から大人まで参加できる複数部門でのコンテストの実施)
  - ・とやま環境フェアでの啓発(10月) など

実施企業の拡大

# ノーレジ袋県民大運動の展開②

ステップ2(実践)

20年4~6月

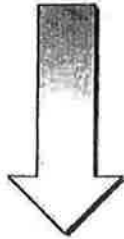
県民にマイバッグ持参を実践してもらおう

事業者にレジ袋の無料配布取止めを実践してもらおう

レジ袋削減の取組み

【4月~6月の3カ月間】  
マイバッグ持参率:92%

〔スーパーマーケット 89%〕  
〔クリーニング店 95%〕



## ●4月以降も参加店舗は拡大中

- ・H20.4 スーパーマーケット4社(4店舗)、クリーニング店1社(28店舗)が協議会に新規参加
- ・H20.6 スーパーマーケット1社(1店舗)が協議会に新規参加  
既に参加しているスーパーマーケット4社(17店舗)が新たに実施
- ・8月1日時点での取組みは全体で 38社290店舗  
〔スーパーマーケット 32社142店舗〕  
〔クリーニング店 6社148店舗〕

- ・環境とやま県民会議構成団体のノーレジ袋率先行動(117団体、4月)
- ・エコライフアクト大会でのノーレジ袋実践事例発表(6月)  
事業者:マイバッグ持参率の向上の成果  
消費者:マイバッグ持参の定着度合い、レジ袋をもらわなくなったことによる生活の変化 など



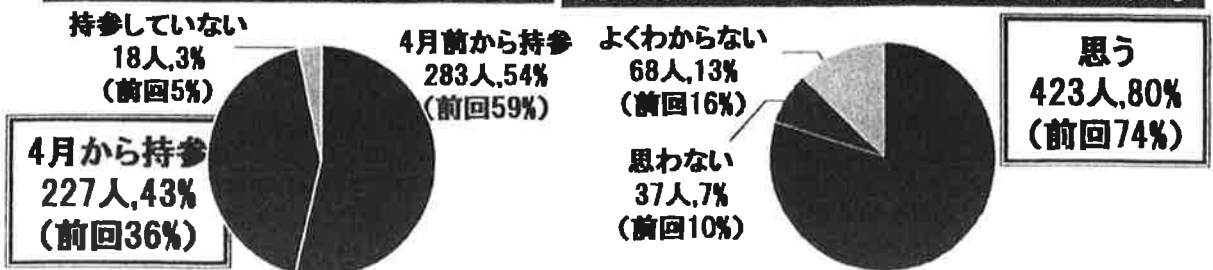
## レジ袋の無料配布取止めに関するアンケート結果

- ・調査日時 平成20年6月8日(日)
- ・調査場所 富山県内スーパー3店舗(県東部、県西部、県中部の各1店舗)の店頭  
(前回調査日 平成20年5月1日(木)、2日(金) → 本調査結果では、「前回」と表記)
- ・調査方法 買い物客に対する聞き取り調査
- ・調査人数 528人(男性130人(25%)、女性398人(75%))

### レジ袋の無料配布取止めに賛成か。



### 4月からマイバッグを持参しているか。今後、環境にやさしい行動に取り組もうと思うか。



## ●ノーレジ袋県民大運動の展開③

ステップ3 (定着・拡大) 20年7月～

県民にスーパー以外でもマイバッグ持参に取り組んでもらう  
他の事業者にレジ袋の無料配布取止めにに取り組んでもらう



### ・マイバッグデザイン・アイデアコンテストの開催

児童・生徒から大人まで参加できる複数部門でのコンテストの実施

(例えば) ・コンビニで使いたいマイバッグのデザインやアイデア

・ドラッグストアで使いたいマイバッグのデザインやアイデア など

・とやま環境フェアでの啓発(10月) など

## ●エコライフ・スタイルの推進

### ■ はじめてのエコライフ教室の開催

・幼児とその親を対象としたエコライフ実践教室

・紙芝居やクイズ  
・公園での美化活動  
・ガーデニング

### ■ 気軽にエコライフ・アクトの展開

・県内のプロスポーツ団体の試合会場等で、  
飲料用リユースカップを試験導入



### ■ エコドライブ推進大運動の展開

・県民向けのエコドライブ実践講座の開講、指導者向け講習会の開催、  
アイドリングストップ装置の導入支援





今、温暖化で地球が助けを求めています。  
この地球のために、私たちにすぐできることは  
何でしょうか？

まず、買い物にはマイバッグを持っていきましょう。  
マイバッグを持っていくことを自分の心に約束した  
しるしとして、別紙の用紙に署名をお願いします。

今、水と緑に囲まれた大切な地球は、人間の活動により、二酸化炭素の増加による地球温暖化、オゾン層の破壊などで環境破壊が進み、いじめられています。早く手を打たないと子や孫の時代どころか、現在の私たちの暮らしを守ることさえもできないかもしれません。かけがえのない地球を守るためにどんな生き方をすればよいか、私たちに問われています。

便利さに慣れた今の生活スタイルを変えていきましょう！生活に深いかわりのある買い物をするとき、気軽にもらったり、使ったりするレジ袋は、加工するときや燃焼するときにも二酸化炭素が発生します。

これからはマイバッグを持って買い物にいきましょう！このことを自分の心に約束したしるしとして、別紙用紙に署名をお願いします。

ご協力いただいた署名については、「富山県レジ袋削減推進協議会」会長にお届けし、地球を守るための消費者の熱意をお伝えしたいと考えています。

平成 19 年 7 月

〔マイバッグ持参推進のための  
署名運動実行委員会〕

- 富山県消費者協会
- 富山県婦人会
- 富山県生活学校連絡協議会
- J A 富山県女性組織協議会
- たかおかマイバッグ運動を進める市民の会
- 富山国際大学 等



<連絡先>

富山県消費者協会【富山県民共生センター(サンフォルテ)内】